

中央工学校 O S A K A  
学 校 関 係 者 評 価 書  
(令和 2 年度)

評価対象期間

自：令和 2 年 4 月 1 日

至：令和 3 年 3 月 3 1 日

令和 3 年 8 月 3 0 日

中央工学校 O S A K A

# 学校関係者評価委員会

## 1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

## 2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者等を選任し、令和2年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。なお、評価の観点は次の項目による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

## 3. 組織

### (1) 学校関係者評価委員会

座長：小松原 学	富士教育訓練センター校長
委員：金沢ちかこ	公益社団法人日本インテリアデザイナー協会 西日本エリア副エリア長
小坂田昌広	株式会社松本組取締役兼副社長執行役員
田中 由之	株式会社ピーピーアイ計画・設計研究所 取締役設計室室長
岩尾 美穂	オフィスいろどり代表
事務局：中村 聖吾	中央工学校OSAKA校長
平上 秀明	中央工学校OSAKA教務部長
原 充介	中央工学校OSAKA教務室長
戸澤まり子	中央工学校OSAKA建築系学科長

(敬称略・順不同)

### (2) 任期

委員（座長含む）任期は令和2年4月1日～令和4年3月31日とする。

#### 4. 実施

令和3年8月3日（火）、中央工学校OSAKA一号館31教室において、学校関係者評価委員会を開催した。

#### 5. 学校関係者評価

##### (1) 学校関係者評価委員会議事概要

###### ア. 議事の進行

中村校長の挨拶に続いて、事務局の平上教務部長から、学校評価（自己評価・学校関係者評価）の概要について説明があり、併せて学校関係者評価シートの記入について留意事項を確認した。

###### イ. 自己評価書について

###### ①学校概要の確認

事前に送付されていた自己評価書をもとに、「建学の目的（アドミッションポリシー）」「基本的運営方針」「具体的方策（厳しい実務教育・人間涵養教育・楽しい学校生活・誇りの持てる学校）」及び学校の現状（「学生数」「教職員数」「学習概況」）について、学校が全般的に良好に運営されていること、教育内容の改善が継続的に行われていること等を確認した。

###### ②自己評価結果の報告と学校関係者評価シートの記入

事務局の平上教務部長から、令和2年度自己評価書の下記項目について説明があり、その後、各委員による「学校関係者評価委員による評価」及び意見の記載を行った。（ ）内は自己評価書の評価項目番号

- (1) 教育理念・目的・育成人材像
- (2) 学校運営
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 留学生（国際交流）

続いて、事務局の戸澤建築系学科長から、令和2年度自己評価書の下記項目について説明があり、その後、各委員による「学校関係者評価委員による評価」及び意見の記載を行った。（ ）内は自己評価書の評価項目番号

- (3) 教育活動
  - 建築学科
  - 住宅デザイン科

- インテリアデザイン科
- 建築 CG デザイン科
- 建築学科（夜間部）

#### （4）学修成果

- 建築学科
- 住宅デザイン科
- インテリアデザイン科
- 建築 CG デザイン科
- 建築学科（夜間部）

### ③自己評価総括の確認

自己評価結果を踏まえた課題が確認できた。それぞれの課題について、改善に向けて努力することを確認した。

## （2）学校関係者評価結果

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、以下について確認した。委員の意見を集約すると次のとおりである。

### ア．自己評価の内容が適切かどうか

令和2年度の業務について自己評価書に基づき報告を受け、内容を確認した。概ね妥当で自己評価の内容は適切であると判断する。

### イ．自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

評価の低い項目についても改善策が示されているが、前年度から評価の向上が見られない項目もある。コロナ禍にあり、難しい面もあるが、具体的に方策を練り、実施することで評価の向上を目指していただきたい。

### ウ．学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか

学校の重点目標や具体的方策等は、社会や業界のニーズを的確に捉えており、適切であると判断する。今後も企業との連携を一層深め、教育に反映させてほしい。

### エ．学校運営の改善に向けた実際の実践が適切かどうか

各項目において、問題点や課題が把握され、改善に向けた取り組みについて確認できた。適切であると判断する。

## 6. 項目別評価

### (1) 教育理念・目標・育成人材像

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・教育理念・目的・育成人材像は定められているか。	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か。	4	3	2	1
・社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1
・教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は、学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1
・教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は、業界のニーズに対応しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

#### 【自由記述】

・今後とも継続よろしくお願いします。

・業界のニーズに対応よろしくお願いします。

・4年後の万博は業界的にも盛り上がるため、学生もいろいろな形で参加できることが今後の仕事においても励みになると思います。ぜひ、各協力団体と力を合わせていただきたいと思います。

・技術者育成の教育の基本に追随する基本理念等、適切に選定・設定されている。

・適切に評価されていると思います。オープンキャンパスや学校説明会の際などに、業界のイメージなどのアンケートをしていただくなど、これからの若い人たちが業界に対し、どのようなイメージをもたれているのかを知りたいと思います。その橋渡しの役割を期待したいと思います。

・適切に評価されていると思います。社会ニーズはますます変化していくと考えられますので、引き続きの取り組みをお願いします。

## (2) 学校運営

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1
・学則・細則・内規等は整備されているか。	4	3	2	1
・コンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1
・教育活動に対する情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1
・情報システム化等により業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

### 【自由記述】

- ・今後も効率化の推進にハード・ソフト両面からよろしくをお願いします。
- ・時代に合った情報発信をされているのは評価いたします。その反面のセキュリティについても問題意識をもたれているのはよいことだと思いました。
- ・基本的運営方針に従い、適切に各部署の運営基本方針が整備され、運用されている。
- ・適切に評価されていると思います。
- ・WEBによる情報管理が進んでいくのはとてもよいことだと思います。しかし、その分、個人情報が増えるリスクも高まります。細やかに管理されますことを願います。

### (3) 教育活動

#### ■建築学科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

#### 【自由記述】

・今後とも研修内容の充実に努めて促進よろしくをお願いします。

・教員資質向上のための研修における改善具体策は具体的であるか。

・適切に評価されていると思います。コロナ禍により授業がやりにくいこともあると思いますが工夫して学生たちの理解度を確保していただきたいと思います。

・【全科共通】学生へのアンケートは学期末にされてはいかがでしょうか？

---



---



---



---



---



---

## ■住宅デザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

### 【自由記述】

・研修内容の充実に努められるよう促進し行われることと思います。

・住宅設計コースに一本化されるのはよいことだと思います。

・適切に評価されていると思います。アンケート調査を前期と後期に分けて実施する取り組みはよいと思います。入学時は自分がどうなりたいのか？（卒業までの目標）、卒業時は卒業までの目標をどれだけ達成したかを顧みるような取り組みもあったらよいと思います。

・発展科目は全く受けなくてよいのでしょうか？卒業に向けて必要な学びなのでしたら「少なくとも○単位は取得する」など、条件を付けてもよいのではないのでしょうか？必修科目成績の補填充てられる・・・でもよいと思います。学生にモチベーションを与えてあげてはいかがでしょうか？



## ■インテリアデザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

### 【自由記述】

・発展科目の位置づけが気になりました。進路によっては必修科目でもあると思われる科目も含まれていたらもっと強調してもよいと思います。

・教員資質向上のための研修の改善方策について、できる方策を早急に策定し、実施が必要。

(2年連続2では?)

・適切に評価されていると思います。課題終了時などに、その課題を制作する際に自分がどのような知識を必要としたか、必要と感じたかを認識させるような取り組みもあってよいかもしれません。

・学生への指導方法のマニュアル化はある程度は必要と思いますが、非常勤講師の方がもつそれぞれのスキルや感性に触れることも学生の学びの一つだと思いますので、その部分がなくなってしまうようお願いいたします。

## ■建築CGデザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

### 【自由記述】

・専門性の向上に努めておられ、適切に行われているように思われる。

・適切に評価されていると思います。建築CGデザイン科のよいところを他科で継承して  
 いただきたいと思います。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

■建築学科（夜間部）

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・教員資質向上に研修をよろしくお願いします。

・資格学校に行けない学生さんが通える学科として有ってほしかったです。

・適切に評価されていると思います。夜間部のよいところを他科で継承していただきたいと  
 思います。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

(4) 学修成果

■ 建築学科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・【全科共通】 キャリア形成と教育内容の関係やその効果を把握し、ニーズに対応してください。

・【全科共通】 進路指導については手厚くされていると思います。コロナ禍で大変だと思いますが、学生さんもよく頑張られていたと思います。先生の指導もあってのことだと思います。

・適切に評価されていると思います。

・【全科共通】 資格取得率が向上されたのは素晴らしいですね。コロナ禍であるからこそ学びたい学生のモチベーションが高まったのでしょうか。今後も続いていくことを願います。

■住宅デザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・意見を共有して授業に活用してください。

・適切に評価されていると思います。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

■インテリアデザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・卒業生と在校生が交流できる機会をどんどん増やしてください。

・適切に評価されていると思います。

・退学理由の「ミスマッチ」が気になります。インテリアデザインは対象がとても広く、また、一般のイメージと実際が違っていることも多いので、より丁寧な案内が必要と感じます。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

■建築CGデザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・SNS等で卒業生ネットワークを通じて情報収集を図ってください。

・適切に評価されていると思います。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

■建築学科（夜間部）

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・卒業生と在校生が交流できるよう努めてください。

・適切に評価されていると思います。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



(5) 学生支援

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

- ・進学・就職等体制、よろしく申し上げます。
- ・コロナ感染症対策 運営、安全に。
- ・コロナ禍の中で就職者が増えているのは評価が高いです。また、学生の健康管理にも気をつけているのはすばらしいことだと思います。
- ・2020年度に引き続き、コロナウィルス感染防止対策に苦慮し、施策と改善の繰り返しであるが、適正に施策されていると考えられます。(運営面についても考慮が必要となってくる)
- ・適切に評価されていると思います。とても頑張っていると思います。
- ・コロナ禍での支援には、情報収集から支援体制の構築まで大変だったと思いますが、すべての評価項目が「適切」に行われていることは素晴らしいことと思います。引き続きのご尽力に期待します。

## (6) 教育環境

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか。	4	3	2	1
・学内外の実習施設・インターンシップ等について充分整備されているか。	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

### 【自由記述】

・教育上、教育環境整備は必要と思われます。充分な対応をよろしくお願ひします。

・対面が難しくなっている中、今後の活動方法も変化していくなかで柔軟に対応されていると思ひます。

・コロナウィルス感染防止対応で教育環境が変化している面は仕方ないが、オンラインによる弊害もあり、3つのポリシーへの支障はないか不安である。

・適切に評価されていると思ひます。

・新型コロナウィルスまん延に伴う、様々な行事の中止について、昨年は致し方ないことだつたと思ひます。今後、コロナが終息するのがベストであります。現状が続く場合のインターンシップのあり方は考えておかれたほうがよいのではないかとと思ひます。

## (7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・学生募集活動は適正に行われているか。	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

### 【自由記述】

・学内情報システムを活用し、合理的かつ効率的な活動をよろしくお願いします。

・少子化が進むなかの広報活動は頑張ってくださいたいです。今の子ども達は SNS しか見ない子も増え、すべての情報をそこから拾い出していると思いますので学生主体の広報は上げられると思います。

・適切に行われていると考えられる。本年度、基本的運営方針に掲げられている（イ）〈経営安定のための学生・生徒の確保〉に伴い、「適切」を維持するよう、改善の繰り返しを要求されるものと推察される。

・適切に評価されていると思います。オンライン授業がどのように行われているかなども入事前の情報として気になるかと思います。

・18歳人口の減少に加えコロナ禍と、学生募集・広報にはご苦労されたと思います。専門学校生き残りはますます厳しくなると思いますが、中央工学校 OSAKA の魅力構築&発信を引き続き頑張ってください。

(8) 財務

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか。	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

- ・学生募集体制の強化及び立案の促進、適切によりしくお願いします。
  - ・校舎建て替え（中央工学校）はもったいないと思いました。丹下建築（一号館）がなくなるのは個人的にいやです。
  - ・適切に評価されていると思います。
  - ・経営安定のためにも学校の魅力構築と広報で学生数確保が不可欠ですね。大きな課題だと思いますが、引き続きのご尽力に期待します。
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・専修学校設置基準等を遵守し、適正に実行されていると思います。

・適切に評価されていると思います。

・引き続き適切な運用を続けてください。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・ボランティア活動を強制していないところはよいと思います。個人の意識を大切にしているのは評価します。

・機会が減少している。少ない機会に、より工夫が要求されてきている。

・適切に評価されていると思います。

・学生ボランティア活動への支援評価について、学業の単位にカウントにするという方法もあります。本来ボランティアは自主性が問われるものですが、学校教育として取り組まれるのであれば一つの方法になるのではないのでしょうか。

(11) 留学生（国際交流）

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・留学生の受け入れについて戦略を持って行っているか。	4	3	2	1
・受け入れ・在籍管理等について適切な手続きがとられているか。	4	3	2	1
・留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

- ・留学生の管理等、適切に行われていると思います。
  - ・厳しい環境の中、適切に整備されている。
  - ・適切に評価されていると思います。
  - ・留学生がより充実した留学期間となるよう、適切な状況の継続を頑張ってください。
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

## 7. 総括

令和2年度における学校業務について、自己評価結果の報告に基づき、学校関係者評価を行った。評価の観点に照らして、全般的に適切な自己評価結果であると判断する。

以上